



大谷地だより

Vol.89

発行

北星学園大学同窓会

札幌市厚別区大谷地西2-3-1

TEL (011) 891-2731

発行責任者 岡田 義明

編集責任者 北星学園大学同窓会事務局

印刷 岩橋印刷株式会社

同窓会設立60周年記念

定期総会・懇親会を開催しました

10月21日(土)、ニューオータニイン札幌にて、北星学園大学同窓会定期総会と懇親会を4年ぶりに対面で開催しました。今年は同窓会設立60周年を記念して開催し、参加者には記念品をお配りしました。定期総会には43名の同窓生が出席し、2022年度活動報告・決算・監査報告、2023年度活動計画・予算が審議され、すべて承認されました。懇親会には退職された山口博教先生、山我哲雄先生、中村一浩先生をお招きし、同窓生と現旧教職員が139名集まり、再会した恩師や同窓生との楽しいひとときを過ごしました。また、今年採用の同窓会奨励生のほか、過年度に採用された奨励生たちも出席し、奨励生を代表して齋藤陽斗さんよりスピーチがありました。長く同窓会活動をしてくださった支部の皆様には、表彰状と記念品をお贈りし、各支部からの報告も行いました。久しぶりに開催した懇親会は、大変賑やかな雰囲気の中で終了しました。

今年は、2024年10月19日(土)にニューオータニイン札幌にて総会・懇親会を開催する予定です。日程が近づきましたら「大谷地だより」や本学ホームページにてご案内しますので、皆様の参加をお待ちしております。

新入会員の方々へ

憧れの先輩

同窓会長 岡田 義明

ご卒業おめでとうございます。また、同窓会へのご入会を心から歓迎いたします。皆さんは大学の友人と別れ、新天地で新たな人間関係を築かれることと思いますが、「大谷地だより」や年一回札幌で開催される総会・懇親会を通し、これからも同窓の絆を大事にしてください。

さて、私が卒業したのは1974年3月、ちょうど50年前となりますが、当時、ゼミの先輩にニューヨークで仕事をされている宮本美智子さん(1945 - 1997、第5回生 1968年3月英文学科卒)という女性がいて聞いておりました。

1980年代になると、彼女はノンフィクション作家となり、『アメリカが嫌いだった父へ』(1982年、草思社、後に文春文庫)、『わたしは英語が大好きだった』(1985年、文芸春秋社、後に文春文庫)などの作品を次々と発表し始めました。30代になっていた私は(晩年に書かれたダイエツト本を除き)数十冊に及ぶ彼女の著作をリアルタイムで読み続け、いつしか宮本美智子さんは私の誇らしい先輩、憧れの先輩の一人となりました。

同窓の絆は不思議なもので、一度も会ったことがなくても、仕事の分野が異なっても、憧れの先輩の存在自体が力を与えてくれるのです。

本学は、皆さんを含め、56,000名余りの卒業生を擁し、卒業生は様々な分野で活躍されております。皆さんも憧れの先輩を見つけ、それぞれの得意分野で能力、才能を発揮されますよう心から祈念いたします。



招待教員の中村一浩先生



招待教員の山口博教先生



左から酒井玲子前学長、日高チャレン、山我哲雄先生(招待教員)



左から古川理事長、岡田同窓会長、大坊学長



過年度の奨励生も懇親会に参加しました



経済学部69年度入学の皆さん



ワンダーフォーゲル部のOBOGの皆さん

北星学園大学同窓会 設立60周年記念講演会のお知らせ

「生きることは食べること」

講師：森崎博之氏「TEAM NACS」

北海道をこよなく愛し歩み続けている森崎氏をお招きし、学生時代から現在の仕事に至るまでのこと、また未来に向けて、北海道のこれからの農業や食育の大切さについて、熱く語っていただきます。卒業生に限らず、ご家族ご友人をお誘いあわせのうえ、お申込みください。

- 日 時：2024年7月13日(土) 受付・開場 13:30～
講演 14:00～15:30(90分)
- 会 場：北星学園大学50周年記念ホール(C館1階)
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1

- 申込期間：5月27日(月)～6月6日(木)
- 申込方法：北星学園大学ホームページの申込みフォームからお申込みください。5月以降に本学ホームページに詳細の案内を掲載いたします。

- *参加無料、定員500名
- *定員になり次第、受付を終了いたします。

問合せ先

北星学園大学同窓会事務局
dousoukai@hokusei.ac.jp

北海道出身。
『あぐり王国北海道NEXT』に出演し北海道を中心に活動。2020年ホクレンアンバサダーに就任。ドラマや映画、脚本・演出家としても活躍。



© CREATIVE OFFICE CUE

北星学園大学
同窓会

つなぐ

同窓生へインタビュー

幹事会の事業部会と広報部会が協力し、同窓生へのインタビューをリレー形式でつないでいます。このインタビューを通し、同窓会活動に参加して下さる同窓生が増えることを願っています。

インタビュー：幹事 若原志津子（1998 年 3 月経済学部経営情報学科卒業）



右が川本さん（北星学園大学C館教室にて）



川本康博さん（2015 年 3 月文学部 心理・応用コミュニケーション学科卒業）
フリーランス記者、ラジオパーソナリティー、株式会社岡田工業 取締役経営企画室長

Q1. 仕事に対する思いとは？

川本さん 私は、インフラ設備のメンテナンスを行っている家業の経営と、情報や報道系のライター・フォトグラファーという二つの仕事をしています。後者は、大学時代の経験に相当影響を受けていますので、今回はこちらを中心にお話します。仕事は北海道新聞発行の生活情報版「さっぽろ 10 区（とーく）」がメインになっており、特集記事の執筆を担当しています。取り組む仕事の前提は「社会に埋もれているネタを探して取り上げたい」という思い。原点は、大学時代に遡ります。

北星時代は元北海道新聞社の記者だった阪井先生にお世話になりました。印象深いのは、第二次世界大戦中にあった沖縄の史実をテーマにドキュメンタリー作品『銃を置いた兵士たち～消えていく沖縄戦秘話～』を、有志 4 人で作ったこと。取材相手が激昂して、まるまる消した素材もあるほど、「取扱注意」の題材でした。この経験が「多少リスクを背負ってでも伝えたい」という、今の思いに繋がっていると感じます。

Q2. 仕事の喜び、やりがいとは？

川本さん Google で出ない情報を書くこと！取材対象者から「意識していなかったことを発掘してくれてありがとう」という言葉をいただけたりとうれしいですね。記憶に残っているのは、実家がある札幌市の北丘珠に、1960 年代に建てられた民間の児童

保育施設に関する記事です。ほぼボランティアによって管理されていた古い建物が胆振東部地震でダメージを受けてしまい、存続が難しくなっている情報を得たんですね。子どもの受け入れ先も調整できず、非常に大きな問題だと思いましたので、当時の「さっぽろ 10 区」編集長にかけあって記事にすることになりました。施設と行政、関係者への裏取りはいつも以上に時間をかけました。そもそもイベント情報がメインの生活情報版にはそぐわない、ちょっと「かたい話題」です。難航するだろうと思いましたが、なんとか掲載が実現しました。その後、無事存続が決まり、紙面が近所のスーパーに張り出されていて、嬉しかったです。僕は非常に自己中心的な人間です。記事というアウトプットの機会があるからこそ、興味を持った人に会いに行けるのが、この仕事のやりがいなのだと思います。

Q3. 辛い時や困難の乗り越え方とは？

川本さん 取材先の“推し”と僕の書きたい内容がすれ違うときは、どう説得するか悩みますね。でも何より辛いのは、締め切りとネタ出しです（笑）。そんな時は、大好きな場所へ行くんです。活火山が好きなので、硫黄山がある道東の弟子屈町や、きれいな海と山、天然の炭酸水が湧く後志の島牧村へ行って、とにかくぼーっとします。

Q4. 在学生と同窓生へのメッセージ

川本さん 在学生の皆さんへ：過去をふり返って在学生の皆さんへ伝えたいことは、「無駄も悪くないぞ」ってこと。いつかどこかで、大きな原動力になるかも。

同窓生の皆さんへ：30代になっても、大学時代の友人や先生から「やる気」をもらってます。今のほうが元気かも。これからもよろしくお願いします。

北星学園大学同窓会 2022年度会計決算・2023年度予算について

2022年度 (2022年10月～2023年9月) 収支決算

【通常会計】 <収入の部>					2023.10.21 総 (単位：円) 2023.10.12 幹 事 会
費 目	予 算	決 算	差異 (予算-決算)	備 考	
前年度繰越金	9,989,150	9,989,150	0	預金(北洋銀行9,825,327)、現金(163,823)	
同窓会費	20,300,000	20,320,000	20,000	@20,000×1,016	
総会懇親会費収入	0	0	0		
プロジェクト	20,000	54,390	34,390	コンサート募金	
利息等	0	11,890	11,890	ゆうちょ定期預金満期利息 現金受取(11,890)	
雑収入	0	579,500	579,500	卒業記念図書カード保管分等 振替	
合 計	30,309,150	30,954,930	645,780		
<支出の部>					
費 目	予 算	決 算	差異 (予算-決算)	備 考	
I. 事務費	5,060,000	2,366,912	2,693,088		
1. 会議費	1,200,000	761,130	438,870	幹事会(310,482)、部会(304,000)、三役会(84,648)、支部懇親会派遣(33,000)、同窓生理事2名後援会費(20,000) 他	
2. 交通費	3,500,000	1,332,060	2,167,940	幹事会(630,630)、支部懇親会派遣(409,410)、部会(166,360) 三役会(75,580)、後志支部設立に向けて懇談会(35,810)、会計監査(4,000) 他	
3. 通信費	130,000	78,716	51,284	郵送料・切手(73,733)、慶弔電報(4,983)	
4. 支払報酬手数料	70,000	73,810	△ 3,810	振込等手数料(51,480)、ビジネスダイレクト手数料(15,840)、残高証明書(3,850) 他	
5. 消耗品費	70,000	51,017	18,983	事務消耗品(31,217)、同窓会室プリンター(19,800)	
6. 印刷費	70,000	60,179	9,821	リソグラフ・コピー機印刷代	
7. 雑費	20,000	10,000	10,000	香典料(名誉会長大坊学長のお母様)	
II. 事業費	18,150,000	16,535,692	1,614,308		
1. 行事費	2,700,000	1,259,150	1,440,850	卒業生記念品(1,174,850)、永年表彰(40,000)、退職者記念品(30,000)、奨励金授与式(4,400) 他 懇親会(2022年10月) 中止	
2. 同窓会文庫費	400,000	400,000	0	寄贈図書	
3. 補助費	5,900,000	5,367,672	532,328	各支部補助(4,407,000)、派遣留学生への支援(750,000)、学祭(100,000)、体育祭(65,000)、北星英研(45,672)	
4. 奨励費	500,000	500,000	0	@100,000円×5名	
5. 奨学費	0	0	0	大学の自宅外通学支援奨学金制度の廃止に伴い、支出なし 奨学費として北洋銀行(普)に積立	
6. 会報発行費	6,800,000	7,180,999	△ 380,999	大谷地だより印刷代(1,445,400)、郵送料(3,530,756)、宛名印刷・封入作業・目隠しシール・住所変更はがき印刷等(2,128,163) 寄稿お礼(12,000) 他	
7. 業務委託費	750,000	722,975	27,025	名簿整備・保管料	
8. プロジェクト等活動費	600,000	604,896	△ 4,896	コンサート運営費、例会会議費・交通費、印刷費、通信費 他	
9. 寄附	500,000	500,000	0	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)	
III. 予備費	4,599,150	0	4,599,150		
IV. 資金積立金	2,500,000	2,500,000	0	北洋銀行(普)に積立 内訳:奨学費2,500,000円	
V. 次年度繰越金	0	9,552,326	△ 9,552,326	預金(北洋銀行(9,106,264)、現金(45,562) 金券(400,500)	
合 計	30,309,150	30,954,930	645,780		

【活動資金積立会計】						(単位：円)
金融機関	2021年度末 (2022.9)決算額	2022年度 利息	2022年度 積立額	2022年度 取崩額	2022年度末 (2023.9)決算額	備 考
合 計	73,745,582	944	2,500,000	0	76,246,526	

2023年度 (2023年10月～2024年9月) 会計予算

【通常会計】 <収入の部>					2023.10.21 総 (単位：円) 2023.10.12 幹 事 会
費 目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	備 考	
前年度繰越金	9,989,150	9,989,150	9,552,326	預金(北洋銀行9,106,264)、現金(45,562)、金券(400,500) 2023.9.30	
同窓会費	20,300,000	20,320,000	19,240,000	@20,000*962名(2023.10.2入金)	
総会懇親会費収入	0	0	200,000		
プロジェクト	20,000	54,390	20,000	コンサート募金	
利息等	0	11,890	0		
雑収入	0	579,500	300,000	コロナ禍の卒業生のための懇親会費収入(300,000)、ご祝儀等	
活動資金積立から繰入れ収入			6,100,000	60周年記念事業財源として6,100,000円繰り入れ	
<収入計>	30,309,150	30,954,930	35,412,326		
<支出の部>					
費 目	2022年度予算	2022年度決算	2023年度予算	備 考	
I. 事務費	5,810,000	3,089,887	4,543,000		
旧会議費(2022年度迄)	1,200,000	761,130		2023年度事務費費目1～4に充当	
旧交通費(2022年度迄)	3,500,000	1,332,060		2023年度事務費費目1～3、5に充当	
1. 幹事会費			1,199,000	年3回 会議費(252,000)、交通費(870,540) 他 【前年度実績941,112】	
2. 三役会費			220,000	年10回 会議費(120,000)、交通費(99,400) 【前年度実績160,228】	
3. 部会費			814,000	支部長部会年2回(うち1回は幹事会同日開催)、その他の部会年6回 会議費(648,000) 交通費(756,480) 他 【前年度実績470,360】	
4. その他会議費			133,000	幹事懇親会補助(122,100)、慶弔費(10,000) 他 【前年度実績62,000】	
5. その他交通費			1,027,000	本部から支部懇親会派遣(534,480)、支部から札幌懇親会派遣(492,480) 【前年度実績459,490 *コロナ禍のため各懇親会非開催】	
6. 通信費	130,000	78,716	138,000	郵送料・切手(59,200)、慶弔電報(20,000)、税金受取人払はがき代(58,000) 他	
7. 事務経費 (支払報酬手数料、消耗品、印刷費)	210,000	185,006	200,000	振込手数料、残高証明書発行手数料、事務消耗品、同窓会備品、リソグラフ・コピー機印刷代	
8. 業務委託費	750,000	722,975	792,000	名簿整備・保管料 (事業費費目から事務費費目に移動)	
9. 雑費	20,000	10,000	20,000	同窓会費返還等	
II. 事業費	17,400,000	15,812,717	27,441,000		
旧行事費(2022年度迄)	2,700,000	1,259,150		2023年度事業費費目1、5、11～13に充当	
旧補助費(2022年度迄)	5,900,000	5,367,672		2023年度事業費費目2、5、7、9に充当	
① 同窓会事業費			14,541,000		
1. 総会・懇親会費			1,343,000	10月会場費等	
2. 各支部補助費			4,607,000	各支部補助(4,407,000)、周年事業費(帯広200,000)	
3. 会報発行費	6,800,000	7,180,999	7,497,000	印刷代(1,446,000)、郵送料(3,297,606)・宛名印刷・封入(885,924)、目隠しシール(607,200)、封筒印刷(492,180) 他	
4. プロジェクト等活動費	600,000	604,896	696,000	コンサート運営に係る会議費・交通費、消耗品、印刷費、通信費 他	
5. その他の事業費			398,000	北星英研補助(150,000)、サークルOB会通信費(100,000)、ホームカミングデー(100,000)、短大OG会作業(48,000) 他	
② 大学・学部への補助事業費			1,120,000		
6. 同窓会文庫費	400,000	400,000	400,000	寄贈図書	
7. 大学への補助			220,000	学祭補助(100,000)、体育祭補助(120,000)	
8. 学園への補助	500,000	500,000	500,000	北星学園創立100周年記念館運営(維持・保存)	
③ 在学生への補助事業費			1,510,000		
9. 派遣留学生への補助			1,000,000	派遣留学生への支援(@50,000*20名=1,000,000)	
10. 奨励費	500,000	500,000	510,000	同窓会奨励費(@100,000*5名)、奨励金授与式・集い(10,000)	
④ 記念品事業費			3,630,000		
11. 卒業生記念品費			3,430,000	図書カード3,000円*1,100枚、台紙代等	
12. 退職者記念品費			100,000	退職者記念品(150,000) 【前年度実績30,000】	
13. 永年表彰記念品費			100,000	永年表彰記念(200,000) 【前年度実績60,000】	
⑤ 各部会の事業費			6,640,000		
14. 総務・組織部会費			0	新支部設立費用は、活動資金の奨学費積立金から支出する。	
15. 事業部会費			6,220,000	つなぐインタビュー(120,000)、同窓会創立60周年記念事業【総会懇親会(450,000)、講演会(2,000,000)、座談会(20,000)、コロナ禍の卒業生のための懇親会(3,630,000)	
16. 広報部会費			242,000	大学ホームページ内同窓会ページ修正(220,000)、ラジオ放送(22,000)	
17. 支部長部会費			178,000	大学祭同窓会ブース設置	
III. 予備費	4,599,150	0	1,279,360	I事務費+II事業費の4%	
IV. 資金積立金	2,500,000	2,500,000	0	2023年度から奨学費としての積み立て廃止	
V. 次年度繰越金	0	9,552,326	2,148,966	収入-(I事務費+II事業費+III予備費)	
<支出計>	30,309,150	30,954,930	35,412,326		

【活動資金積立会計】					(単位：円)
金融機関	2022年度末 (2023.9) 見込額	2022年度 積立額	2023年度 取崩額	2023年度末 (2024.9) 見込額	備 考
合 計	76,246,526	0	6,100,000	70,146,526	

HOKUSEI 支部活動報告

旭川支部 旭川支部のご紹介

みなさんこんにちは。旭川支部は、空知、留萌、上川、宗谷と広範囲をエリアとして、約1,300人の卒業生が会員となっています。例年、大学の父母懇談会に



合わせて、旭川市で総会と懇親会を開催しており、今年で、創設42年目を迎えます。同窓会と聞くと堅苦しい感じがしますが、卒業生の輪を広げるのはもちろんのこと、仕事の人脈作り、友人を増やす機会としてもらえたら嬉しいです。一度、ぜひ、気軽に参加してみてください。お待ちしております。

北見支部 今年度の北見支部活動について

当支部は、昭和62年12月に3番目の同窓会支部として設立し、35年を超える活動を続けています。

令和5年の総会・懇親会は、8月26日(土)に、北見市内において、同窓会支部会員16名、大学からは中村副学長をはじめ教職員、事務職員6名と同窓会本部からは千葉副会長、北本幹事をお招きして開催しました。

コロナ禍を乗り越え、4年振りに懇親会を開催することができ、参加いただいた同窓生の皆さんの顔を拝見すると日常に戻りつつあることを実感しつつ、同窓会活動の大切さを改めて認識するに至ったところです。

今後も、同窓会本部・大学からのご支援をいただきながら、知床から雄武までの長く広いオホーツクに点在する『北星』の絆を、年に1度太い線として描けるよう、世代を超えた楽しい支部活動を目指してまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年の北見支部同窓会総会・懇親会は、8月25日(日)を予定しています。オホーツク管内在住の同窓生の皆さん、同窓生の参加料は、1,000円です!年に1度、北見のグルメを味わいながら、学生時代を振り返りに遊びに来てください。(同窓会総会・懇親会のご案内ハガキが届かない場合はご連絡願います。)



函館支部 2023年函館支部の活動

2023年の函館支部の総会・懇親会は、新型コロナウイルスの影響で2020年より開催を中止していましたが、4年ぶりに開催することができました。9月9日に開催し、同窓生15名、同窓会本部より岡田会長はじめ3名の役員さん、大学より大坊学長をはじめ10名の教職員の皆さんに参加していただきました。

4年ぶりの開催とあって支部幹事一同どうなるかと不安の気持ちもありましたが、無事に終了することができてホッと胸をなでおろしました。

4年ぶりの開催とあって参加者はいつもよりは若干少なくなりましたが、初めて参加する同窓生、久しぶりに参加する同窓生、いつもの顔の同窓生が集い、また久しぶりに会ったゼミの先生との会話などで和気あいあいと進行了しました。

今年は会場の制約もあり前回好評だったサクソフォンの生演奏はできませんでしたが、ビンゴゲームとその景品と引き換えに行う参加者全員の一言スピーチで大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

函館支部では参加者がなかなか増えてこないという課題があり幹事も毎年頭を悩ませています。反面、初めて参加するという同窓生も徐々に増えてきており、支部の役員も大変うれしく思っています。

今後も一人でも多くの同窓生に参加してもらえよう工夫して、函館支部を盛り上げていこうという思いを一つにして終了しました。



釧路支部 4年ぶりに総会・懇親会を開催!

当支部は、2023年9月3日(日)、総会・懇親会を釧路プリンスホテルにて開催、支部会員が参加した他、同窓会本部から岡田会長をはじめ、森谷幹事、大学から中村副学長、大学教職員をお招きし、大いに交流を深めました。これまでコロナ禍の3年間は支部活動が停滞し、総会・懇親会を開催できていませんでしたが、当日は4年ぶりの開催と言う事もあり、久しぶりの再会に会員同士、近況や大学時代の昔話に



帯広支部

お久しぶりです....

2023年9月2日(土)帯広支部定期総会・懇親会を帯広市内和洋ダイニング銀帯広駅前アパホテル帯広駅前で行いました。

同窓会本部より岡田義明会長、伊藤貴子幹事、駒ヶ嶺剛史幹事、大学からは中村和彦副学長をはじめ15名、支部会員25名の参加となりました。

コロナ禍で4年ぶりに開催するので、果たして参加する同窓生の人数は、少ないのではないかと、予想していましたが、例年通りの参加者となりました。コロナが要因での影響や参加を控えることはなかったと思います。今回も同窓生の声掛けや岡田会長からの名簿にない十勝在住の同窓生の紹介もあり新たな会員に参加していただきました。ありがとうございました。

帯広支部は、懇親会がメインで、他の行事や企画はありませんが、十勝の食材をふんだんに使用した料理を提供しますので、是非お越しください。雰囲気はとってもいいです。恒例のビンゴ大会も復活!豪華景品?が全員にあたります。タダでは帰しませんので、お気軽に参加してほしいと思いますので、この場を借りてご案内いたします。今年は40周年と節目の年を迎えます。多数のご参加お待ちしております。



東京支部 東京支部活動報告

東京支部は、昨年11月11日に、第35回総会・懇親会を開催致しました。

参加者は20数名と、コロナ禍以前の参加者には及びませんでしたが、大学からは、大坊学長をはじめ、山本事務局長、そしてご招待の鈴木経済学部教授、同窓会本部からは、赤塚副会長、清水副会長のご参加を頂き、とても楽しい有意義な交流を行なうことができましたことに、厚く御礼申し上げます。

懇親会では、「レインボーカマアイナス」のバンド演奏を楽しみ、また参加者による、なごやかな交流を深めることが出来ました。

東京支部会員数は現在1,391名と、ここ数年ほぼ横這いで推移しております。また、会報は年一回発行し、会員相互の交流を進める上で、大きな役割を果たしております。

幹事会は、年4回開催しています。今年の課題は、東京支部会員の卒業年度の特徴に見合った恩師をご招待し交流を深めるなど、同窓会活動の基本を大切にしていきたいと考えております。

また、東京支部では、財政的な援助を含め、支部会員の様々な集まりと支部とのジョイントを呼びかけております。支部会員のご連絡をお待ちしております。



千歳支部 新会員募集活動について

千歳支部では、会員相互の親睦を深めるため、毎年恒例の新春ボーリング大会をはじめ、真冬に屋外で寒さを楽しむ焼肉懇親会、また、夏には北星学園大学YOSAKOIチーム廻の激励会を実施したほか、新会員募集活動を行うため、支部の「のぼり」「法被」のほか、これまでの支部活動の様子や新会員へのメッセージなどをまとめた「支部紹介&新会員募集DVD」を作成しました。

「のぼり」「法被」「DVD」については、10月に大学で開催された星学祭において、大学同窓会事務局及び各支部と連携して設置した同窓会ブースにおいて活用し、イベントを盛り上げました。

また、11月開催の支部総会・懇親会においても、のぼりと法被を披露したほか、DVDの映像を公開し、好評でした。

今後においても、支部活動を盛り上げるため、楽しい各種イベントを開催してまいりますので、同窓生の皆さんは、ぜひご参加ください。



花を咲かせていました。今年度は支部の参加者がやや少なかった他、懇親会も例年になくシンプルであったものの、今回を足掛かりに支部活動も本格的に再開となり、今後、参加者が増えることを期待します。今年度から新副支部長に釧路市議でもある夏堀めぐみ氏が加入、役員も新体制となりました。

来年度の総会・懇親会は2024年8月31日(土)に開催を予定しており、現在、参加者を大募集中です!アットホームな当支部の活動に是非ともご参加をお待ちしております。

この度、ご卒業される皆さん、あるいはご友人やお知り合いで赴任地が釧路・根室地方という方がいらっしゃいましたら、幹事の櫛部までご連絡をください。【電話0154-25-0288(一社)釧路社会的企業創造協議会】

プロジェクトからのお知らせ

講演会・コンサートも回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただき心より御礼申し上げます。
今後も皆さまに楽しんでいただけるような充実した企画にしたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いします。

コンサートの申込方法について

パイプオルガンコンサート

申込期間:5月13日(月)～5月23日(木)
定員になり次第締め切らせていただきます。

「パイプオルガンコンサート参加希望」と、氏名、ふりがな、電話番号、参加希望人数を明記の上、北星学園大学ホームページの「申込みフォーム」、電話、E-mailでお申込みください。事前の整理券等は発行しませんので、お申込みされた方は当日直接会場へお越しください。

申込み・問合せ先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
北星学園大学同窓会事務局
同窓会プロジェクト係
TEL 011-891-2731
メール: dousoukai@hokusei.ac.jp



お願い

未就学児の入場はご遠慮ください。
公共の交通機関でお越しください。

パイプオルガンコンサート
バッハからブラームスまでの教会暦に基づくコラール前奏曲

第24代札幌キタラ専属オルガニストのウィリアム・フィールドिंग氏をお迎えします。
どうぞお楽しみください。

日時: 2024年5月25日(土) 午後2時から 会場: 本学チャペル



プロフィール

1999年、イギリスのブラックバーン生まれ。セント・メアリーズ音楽学校、イギリス王立音楽大学でオルガンとピアノを学ぶ。2020年よりフランスのトゥールーズに移り、ミシェル・ブヴァールにオルガンを師事。2021年より、サン・セルナン大聖堂聖歌隊の正オルガニストを務めている。2023年9月、第24代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。

演奏予定曲目

バッハ: ライプツィヒ・コラール集とオルガン小曲集
ブラームス: 11 のコラール前奏曲
レーガー: 52 のコラール前奏曲 Op.67
及び 13 のコラール前奏曲 Op.79b ほか

TENGOコンサート

6年の歳月が流れて… TENGO再び北の大地に立つ

去る9月30日(土)午後2時より本学チャペルで6年ぶりのTENGOコンサートを開催致しました。満席の中、多くのお客様から「待ち望んでいたお2人の熱のこもった演奏に感激した2時間でした」と言う好評をいただきました。

第1部はジプシー音楽の「黒い瞳」から始まりました。22年ぶりに発売されたCDのタイトル名となっており、日本人に合う情熱的な曲です。バイオリニスト天野紀子さんとアコーディオニスト後藤ミホコさんの絶妙なトークを交えながら「日本の四季」、「ジプシーソングメドレー」、「映画メドレー」を演奏されました。第2部はアコーディオンソロで「百万本のバラ」、バイオリンソロで「雪の華」、ユニットで「ロシアンメドレー」等を奏でました。アンコールはザ・ピーナッツの「恋のバカンス」を観客席まで下りて歩きながら演奏され、拍手が鳴りやまない程の大盛況の内にコンサートを終えました。秋のひととき、TENGOの世界に魅了され、感動と満足の余韻に浸ったお客様の足取りは軽く感じました。



コンサート報告

チャペルに響く
フルート・チェロ・ピアノの調べ

クリスマスを待つ冬の一曰“アドベント”に寄せるコンサートは去る12月9日(土)雨模様の午後2時に、石川祐支さんのチェロの音が静かに流れ、それに寄り添うように大平由美子さんのピアノそして軽やかに類家千裕さんのフルートが合流し、P. ユーラー作曲「ロマンチックな小品」の演奏で第1部の幕が上がりました。三重奏の華やかさが満員の客席に漂い次のF. ダンツィ作曲「フルートとチェロのためのデュエット第3番」は高音のフルートと低音のチェロの対比の面白さも知り、F. クラーウ作曲「協奏的三重奏曲」は3つの楽器が絡み合い、うねりとなりました。第2部の“名曲アルバム”は多くの人たちに知られる作曲家、その作品が次々に演奏されました。大平さん、石川さんともにユーモアのあるトークを挟みながら、楽しく進行していきました。J.S. バッハ「ポロネーズ／バディネリ」はフルートとピアノ、「プレリュード／ジグ」はチェロ独奏、L.V. ベートーヴェン「月光」はピアノ独奏、A.ピアニノ「ブエノス・アイレスの四季」とG. カッチーニ「アヴェ・マリア」はピアノとフルート、J. シベリウス「縦の木」はピアノ独奏、S. ラフマニノフ「ヴォカリーズ」はチェロとフルート、C. サン＝サーンス「白鳥」はチェロとピアノ。そしてアンコールにはE. モリコーネ「ニューシネマパラダイスメドレー」をトリオで演奏され、客席は名残惜し気に拍手が鳴りやまなかったのは言うまでもありません。



同窓会プロジェクト 委員募集

同窓生から広くプロジェクト委員を募集します。

●活動内容

講演会・コンサートの企画、立案、実施、「大谷地だより」「プロジェクトからのお知らせ」紙面の作成

●活動日

【例会】水曜日午前10時半から年6回程度(不定期に臨時例会あり)
【講演会・コンサート実施日】年数回
興味、関心のある方はぜひ同窓会事務局までご連絡ください。

同窓会各支部総会・懇親会のお知らせ

同窓会には各地に支部があり、各支部にて総会・懇親会を開催いたします。お近くにお住まいの方はぜひお越しください。
日程が近づきましたら大学ホームページにてご確認ください。

同窓会各支部連絡先

- 旭川支部(1983年発足) 支部長 西岡 将晴
090-7648-1997 kembuchi2000@yahoo.co.jp

●帯広支部(1985年発足) 支部長 成田 啓介
0155-56-4706 (特養札内寮) mansei@cameo.plala.or.jp

●北見支部(1987年発足) 支部長 結城 亨
連絡先は事務局長 境達也 090-3893-4847
tatsuya.sakai@city.kitami.lg.jp

●東京支部(1988年発足) 支部長 遠田 嘉憲
04-2949-6726 ysr-enda@tbz.t-com.ne.jp
- 函館支部(1988年発足) 支部長 畑中 博史
090-3899-2485 hiro-121@sea.ncv.ne.jp

●釧路支部(1989年発足) 支部長 角 隆史
0154-65-9812 kaku4744@msn.com

●千歳支部(1996年発足) 支部長 北村 昌樹
080-5727-9197 masaki9197@gmail.com

支部名	日程	場所
旭川支部	8月24日(土)	旭川市内
北見支部	8月25日(日)	北見市内
釧路支部	8月31日(土)	釧路市内
帯広支部	9月1日(日)	北海道ホテル
函館支部	9月7日(土)	函館国際ホテル
東京支部	11月9日(土)	アルカディア市ヶ谷
千歳支部	11月23日(土・祝)	千歳市内

退職される教職員の方々からのメッセージ



平和な人には未来がある

学長
大坊 郁夫

新年早々、心穏やかではられない出来事が続きました。これをお読みの方にもご関連の人がおられるかと存じます。お見舞い申し上げます。

2018年以来学長として6年間務めさせていただきました。この間、多くの方に助けられましたことにお礼申し上げます。

平穏な年は、そうあるものではないことを実感しております。2018年には台風と胆振東部地震、2019年には、本学の学部学科構成の検討の議論が本格化しました。2020年からは新型コロナウイルス禍の対策で翻弄されました。その間に、若年人口の減少も加わり、高等教育機関のあり方が問われ、高校卒業者の進路選択、受験動向も大きく変化しつつあります。その中で、範としたい大学は、社会のニーズを的確に捉え、受験生を惹きつける魅力発信を続け、安定した支持を得ています。大学に限らず、一所に身を置いていて、所属当初には見えていたことにも慣れてしまい見えにくくなりがちです。内部からでは気づきにくいことを視点を変えて定期的に見つめ直す作業は欠かせません。

着任後、同窓会の方々に、本学についてのご意見をいただく機会をお願いしようとしつつも、迅速にそれを進められませんでした。それは偏に当方の努力不足であったことを反省し、悔いております。

同窓生の皆様の母校（本学）は、生涯変わることはありません。そして、本学の卒業生は日本各地や海外で活躍されています（木の良し悪しは、その結ぶ実で分かる）（マタイ、12章33節）。大学は、在学生、教職員、学生の家族、そして卒業生、卒業生の活躍する職場の人々、地域の人々、さらには、将来本学の学生となり得る若い人々と広汎なネットワークの中で役割を担っています。とりわけ、卒業生の方々の「想い」は重要です。自分の経験を他人に伝え、また、他人の経験と比べる知恵を持つていくからです。今後とも、本学の行く末を見守り、本学の歴史を担い、未来を築くお力添えをお願いいたします（平和な人には未来がある」詩編37編37節）。ありがとうございます。



いい大学だったなあ

文学部 教授
濱 保久

1981年に京都から来道しずっと北海道大学に勤務していた私は1989年に非常勤講師として初めて北星学園大学に足を踏み入れた。当時、私は大谷地駅に隣接するマンションに住んでいた。ベランダから毎日キャンパスを眺めてはいたが、実際に教壇に立ち学生さんの気持ちのいい性質に触れ北星の大ファンになった。そして縁あって1991年に文学部社会福祉学科に赴任した。福祉的雰囲気は学部を超えてキャンパスにも充満していた。すれ違う学生さんの表情が柔らかいのである。彼らはコナラ林（日本の北限）に包まれたキャンパスにとってもマッチしていた。規模は大きくないが、皆が顔見知りであるかのような感覚に溢れた不思議な大学であった。私は全学部生対象に心理学を教えていたので「顔見知り感」は尚更であった。キャンパスですれ違う多くの学生さんが会釈してくれ、授業のコマ数・人数、会議の多さなどストレスの種になってもよきような要素はいろいろあったのに、それ以上に学生さんからもうえた力によって毎日嬉々として仕事をすることができた。そしてそれは退職のこの瞬間まで継続している。

授業以外の場面でもたくさんさんの思い出がある。体育祭にはほとんど欠かさず参加し学生さんと対戦してきたし、大学祭への出店（たこ焼き、フランクフルトなど）も数限りない。楽しくて仕方ない幸せな時間をみんなと一緒に過ごすことができた。ほんとうにいい大学で職を全うできたこと感謝の気持ちでいっぱいである。ありがとうございます！



「感謝」の想い

経済学部 教授
松本康一郎

2007年4月に本学に赴任して初めての感想は、キャンパスの清掃が行き届いていたこと、学内ですれ違う教職員の皆さんが必ず挨拶を交わされることでした。25年間勤務した前任校では、清掃をしているのです。キャンパスが自然としており、教職員の挨拶も一部の人がただでして。さらに学部教授会では、はじめに祈禱があり、それにより会議室が自然と静粛になる。このことに、大いに感じました。前任校では、議長が「静粛に！」と何度も促す情けない有様でした。おかげで、本学での17年間はとても心地よく過ごすことができました。

こうした環境面での感謝だけではありません。私の専門は会計学ですが、学部・大学院の恩師が「簿記学（勘定理論）」の専門であったため、私自身もいつかは、たんなる入門書でなく本格的な簿記テキストを著したいと考えていました。このことが、本学の同僚である大原昌明先生と共著によって成し遂げることができました。この著書「現代企業簿記の基礎」の刊行に当たっては、後援会の資金援助を賜ることで、かなりの頁数であったにも拘らず、価格を抑えることもできました。さらに出版社のご協力もあって、今日までに4版を重ねることができました。大原先生はじめ関係各方面に深く感謝申し上げます。

大原先生には、この著書刊行だけでなくさまざまなご協力・ご支援をいただきました。たとえば、日本会計教育学会の全国大会を本学で開催したときも、大原先生のご協力がなければ行えませんでした。大原先生への感謝の想いは、数え上げればきりがありません。最後に、私の後任人事も最適な人事を行えたように安堵しています。経済学部教授会の諸先生にも感謝申し上げます。



四十三年間の思い出

入試課
竹島 浩一

1981年、北星学園大学（以下、本学）経済学部経済学科に入学、卒業後、学校法人北星学園に奉職以来、定年退職の今年度末まで本学のみ勤務でしたので、大谷地キャンパスで43年間を過ごしました。

キャンパス内は大きく変貌し、殆どの校舎は新築・改築されましたが、チャペルだけは、パイプオルガンを入れ替えただけで、本学の象徴として建ち続けています。

私は、実に10回ほど人事異動し、いくつかわたしの経験がしました。一つ目は、東京試験場初年度に、答案入りのジュラルミンケースを抱えて搭乗し、スチューデント（現CA）に奇異な目で見られたこと（学部事務室入室試験）。二つ目は、社会福祉学部、大学院三研究科設置に携わり、膨大な量の認可申請書類作成のため月百時間超えの時間外労働を何ヶ月も続け、認可時に、理事長から「これは神様のおかげです」との一言のみに、思わず「えっ、それだけ」と絶句したこと（企画室）。三つ目は、ドラマ「HERO」の如く、検察官と検察官事務官に2回ほど聴取されたこと（法人課）。

現在、同窓会業務は社会連携課が担当ですが、私が勤務し始めた頃は、本学に勤務する卒業生が勤務時間外に業務を行うという習慣があり、私も事務局局長を仰せつかりました。その時苦慮したが、いかに懇親会参加者を増やすかでした。ですので、今後は毎年、同窓会懇親会に参加しようかと思っています。その際には、お声を掛けていただければ幸いです。



新同窓生の皆様へ

研究支援課
山田 充雄

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます！
多くの方が4月から社会人としての一歩を踏み出されるのです。

私は30年以上北星学園で事務職員として働きました。学校の最大の目的が学生の成長につながる教育をすることである以上、事務職員は裏方だと考えています。事務職員でも広い意味で教育的な仕事をする場合もありますが、表舞台は学生と教員のもので、私はたとえ学生との接点がない裏の業務を担当していても、自身の仕事の先に学生を成長につながる教育があると考え、教員と同じベクトルを持つことが大切だという考えを持ち働いていました。このように自分の仕事に裏方という立ち位置を把握することによって、自分の仕事と社会とのつながりを意識できたことは良かったと思っています。

昨年、北広島市にエスコンフィールド北海道が開業しました。日本一と言える素晴らしい球場です。地域に新しいエンタメを提供し、選手のモチベーションも上がっていることでしょう。収益は強化費に充てられ成績も上がってきそうです。

プロの球団にとって最大の目的は優勝することでしょう。選手が優勝に向けて切磋琢磨し華やかな表舞台で活躍する一方、裏で同じ目的を持ち球場を整備し収益を上げようと働いている人がいることに私は共感します。

卒業生の皆様とはほぼ接点がなかった事務職員の考えですが、皆様が晴れて社会に出るにあたり、少しでも参考になれば幸いです。

新同窓生の皆様のご活躍を祈念しております。

コロナ禍で卒業祝賀会が開催されなかった 2019年度～2022年度卒業生の皆さまへ

卒業祝賀会の開催を決定しました！

詳細につきましては、4月以降に本学ホームページ等にてお知らせいたします。

日本学生支援機構奨学金を貸与されていた同窓生の皆様へ (大学学生生活支援課から奨学金貸与利用された一部の同窓生へのお知らせがあります)

在学中に日本学生支援機構奨学金を貸与されていた同窓生の皆様は卒業年の10月から口座振替により返還開始となります。
新規卒業者は今年10月から返還が開始になりますが、口座振替ができなくなり延滞になり、クレジットカードやローンを利用できなくなります。
返還が困難な場合は日本学生支援機構の相談センター（TEL 0570-666-301）へ減額返還や返還期限猶予についてお問い合わせください。

北星学園大学短期大学部 学生募集停止のお知らせ

学校法人北星学園は、2024年2月20日に開催した理事会において、北星学園大学短期大学部の学生募集を、2024年度新入生をもって停止することを決定いたしました。18歳人口が著しく減少していること等の情勢を踏まえ、多角的に検討し、判断いたしました。短期大学部は「深い教養と専門知識・技能を修得し、愛と奉仕に生きる自由な人間の育成」という教育目標のもと教育実践を重ね、約2万人の卒業生を送り出してきました。短期大学部の理念や実績は、4年制の北星学園大学へ発展的に継承いたします。

これからも同窓会の活動は継続してまいります。女子短期大学及び短期大学部の同窓生の皆様におかれましては、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

※若名の掲載は、本学へ入金された日で集計しております。(インターネットからクレジット決済でご寄付をされた場合、本学への入金が確認されるまで通常1～2か月程度を要します)